

A I D S ネットワーク横浜 ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 A I D S ネットワーク横浜
〒231-0015 横浜市中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9 F
TEL：045-201-8808 fax：045-201-8809

ホームページ <http://www.netpro.ne.jp/any/>

e-mail：any@netpro.ne.jp



第 27 回総会のお知らせ

日時 2019 年 5 月 18 日(土)13 時 30 分～

会場 横浜AIDS市民活動センター

*会員の皆様には、議案書を同封しました。万障繰り合わせの上ご出席いただけますようお願いいたします。

*出席の可否について同封のハガキにて 5 月 1 7 日までにご返送をお願いいたします。



お知らせ

*昨年度、当団体へご寄付をいただいた方・・・ここにお名前を掲載し、感謝申し上げます。

笹田克子様 サンセット 21 ライオンズクラブ様 ステイト工業(株)様
田中誠二様 石井史恵様 北原美智子様 直喜屋様 市川由美子様
横浜商工会議所様 伴整形外科様

☆ 2019 年度 会費納入のお願い・・・同封の振込用紙でお願いします。

年度が替わりましたので、今年度の会費を納めていただく時期になりました。引き続き会員になり、支えていただけますようお願いいたします。

払い込み先：ゆうちょ銀行

加入者名：ANO 法人 A I D S ネットワーク横浜

口座記号番号：00230-1-135371

会費：一般会員 6000 円 学生会員：3000 円 賛助会員：5000 円

☆ 電話相談件数 3 月 66 件

AIDSボランティア学校（第27期）

電話相談員養成講座受講生募集!

主催：横浜市認定NPO法人 AIDSネットワーク横浜

AIDSネットワーク横浜は、1993年発足以来、HIV・エイズに関する電話相談・予防・啓発・調査などの活動を行ってきました。この度、27期目となる講座を開講します。講師の方々は、第一線でご活躍の方々です。自分のために学びたい、そして、社会の役に立ちたい等の方、ぜひ!!

1講座のみの受講も可能です。あなたのご参加をお待ちしています。

*8月3日は自由に参加可能です。(申し込み不要)

日時：裏面のプログラムを参照してください。
会場：横浜AIDS市民活動センター（中区尾上町3-39 尾上町ビル9階）
8月3日の講座は、かながわ県民センター（AIDS文化フォーラム会場）
受講料：無料（横浜サンセット21ライオンズクラブからの寄付により）
申込み：本会ホームページから申し込みができます。
または、下段の申込書に必要事項を記入し、FAX、郵送で。
同内容を記載したEメールでも結構です。
定員：各講座先着20名（8月3日を除く）
宛先：・FAX 045-201-8809
・Eメール any@netpro.ne.jp
・郵送 〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F
YAAIC内 AIDSネットワーク横浜
QRコード
問い合わせ：090-6157-1229
(留守電の場合は連絡先を録音して下さい。こちらからご連絡いたします。)



ホームページ
QRコード

第27期AIDSボランティア学校 受講申込書

氏名 (フリガナ)	住所									
()	〒 -									
受講希望の講座No.に○をつけてください ⇒	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	全講座									
電話	FAX					e-mail				
-	-					-				

※ 定員超過でお受けできない場合はご連絡いたします。

第27期AIDSボランティア学校 プログラム

興味がある方どうぞ！ 1講座の受講も可

HIV・エイズを通して学ぶ性の健康

～知ることから はじめよう！～

開催予定日	No.	時 間	テーマ および 講師（所属）
6月22日 (土) 横浜 AIDS 市民 活動センター		10:30～11:15	開校式 & 自己紹介
	1	11:30～ 12:30	やさしくHIVと免疫 免疫とHIVとを総合的に解りやすく伝えます。 堀尾 吉晴 (AIDSネットワーク横浜)
	2	13:30～ 15:30	いろいろな性 性って？ いろいろな形がありますね 安達 倭雅子 (“人間と性”教育研究協議会)
7月6日(土) 横浜 AIDS 市民 活動センター	3	10:30～ 12:30	HIVの検査 不安の解消も治療も検査から始まる 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
	4	13:30～ 15:30	HIV陽性者の現状と課題 講演・当事者との対談(タケ&高久) 高久 陽介 (日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)
7月20日 (土) 横浜 AIDS 市民 活動センター	5	10:30～ 12:30	性感染症のUPDATE 感染、臨床、治療を通して 山岸 拓也 (国立感染症研究所感染症疫学センター)
		12:30～13:30	ランチミーティング (お昼を食べながら交流しましょう)
	6	13:45～ 15:45	感染者、患者の看護と介護 感染者の立場に立った看護・介護を進める 宮林 優子 (横浜市民病院感染症科看護師)
8月3日(土) AIDS文化フォーラム 会場：かながわ 県民センター	7	10:00～ 12:00	感染者・患者の生活とソーシャルワーカーの役割 感染者の生活を守る制度とその実際を 友田 安政 (横浜市大付属病院)
	8	13:00～ 15:00	妊産婦への切れ目のない支援 HIV感染妊婦も含めて 水主川 純 (東京女子医科大学)

8月24日 (土) 横浜 AIDS 市民 活動センター	9	10:30~ 12:30	H I Vの治療について 治療はどこまで進んでる？ 小島 賢一 (荻窪病院血液科 臨床心理士)
	10	13:30~ 15:30	カウンセリング講座 顔が見えないからこそ心を開けることも 小島 賢一 (荻窪病院血液科 臨床心理士)
	15:30~16:30		修了式&ミーティング

ANYや地域の活動を通して思うこと・・・中野久恵



春が巡ってきた。円海山の新緑がパステルカラーから濃い緑へ変化するさまを眺めながら過ごす日々である。

退職して地域に暮らすようになって9年。今までかかわってこなかった地域での活動に駆り出されるようになり、民生児童委員の委嘱を受けて5年になる。長年、暮らしていても地域のことはよくわからないことが多い。我が自治会は、郊外型住宅団地が開発され入居が始まってから40数年が経過し、今では高齢化率が47%というまちになっている。入居当時は、考えられなかった課題がある。商店街がなくなり買い物不便、喫茶コーナーのような集える場所がない、一人暮らしや高齢化に伴う不安等。そのような地域で安心して暮らすための福祉的なかわりを模索している日々である。

首都圏等へ通勤していた現役世代が地域で生活するようになり、地域には様々なキャリアを持った人が暮らしている。すでに学童の見守りや防犯パトロール、小学校閉校跡地を活用した園芸や季節の催し物企画等の地域活動に活躍している人々がいる。地域での社会参加がシニアライフ充実には有効といわれるが、一步を踏み出すきっかけが見いだせない人も多い。

阪神淡路大震災では多くのボランティアが活動し、95年がボランティア元年といわれるようになった。ANYの活動は、93年の設立以来、脈々と続いている。先月の相談部会で行ったミニ・ワークショップでは、「あなたが電話相談を続けている“元気のもと”は何ですか？」という問いに、「自分のためになっている」「感謝されることが嬉しい」「社会・人とのつながり」という結果を得ることができた。ANYの活動が続ける中で得られることの大きさを改めて感じることもできた。

私たちは、人と人とのつながりの中で生きている、より良い関係性を保てる人が身近にいることは安心が得られ精神的にも安定する。そう思うと、ANYの活動や地域での活動は、自分育ての時間と思える。

電話を通して一期一会の出会いの中で、電話の相手とつながりを持てる、相手に伝わる何かがあればうれしい。地域での訪問や集う中での会話、何気ない中で人と人がつながり、私も支えられていると感じる。助け合い、支え合うのは一方通行ではなく、相互に行き交うもの。「支える側」、「支えられる側」という二分されるものではなく、それには壁がなく双方向に行き交うものであると感じるこの頃である。